

# 中期SDGsアクションプラン（2024-2027年度）

分野	取組・活動内容	取組・活動内容がSDGsのゴールにどのように繋がるか、どのような社会課題・地域課題を解決するか	目標年次・目標	関連するゴール
経済	古紙の取引条件として、新たに「リサイクル・サーチャージ」（再生資源価格に適正な再生手数料を加算する仕組み）の導入を関係業界・行政等に提案し、働きかけていく	雇用・賃上げ・生産性向上投資等の原資を確保し、古紙卸売業としての事業継続性を高めることを通じて、再生資源の回収と安定供給を維持する	2027年度までに、「リサイクル・サーチャージ」が古紙の取引条件として確立されている	8・12・17
社会	これまで小学生を対象に実施してきた「紙リサイクル出前事業」を、中等教育・高等教育にも広げていく	循環経済・脱炭素に貢献する働き甲斐のある業界として認知され、排出者（ステークホルダー）の理解と協力のもと、古紙をはじめとする再生資源の回収が拡大する	2027年度における学校教育の場におけるリサイクル授業の実施回数30回/年（現状20回/年）	4・12・17
環境	古紙掘り起こしのための「古紙標準品質規格」の見直し（新品目の設定、既存品目許容基準の緩和等）を関係業界・行政等に提案し、働きかけていく	経営資源（人員・車両・設備・ヤード等）を最大限に有効活用し、廃棄物として処理される古紙を限りなくゼロに近づける（ごみ減への貢献）	2027年度までに「古紙標準品質規格」の改定を実現する	11・12・17